

質疑・質問

12月定例会の
主な質問項目

1 梅木良照議員

- ① 予算編成方針
- ② 地域交付金制度の導入
- ③ 山鳥坂ダム
- ④ 商店街の活性化策
- ⑤ 高齢者介護施設の現況と今後の見通し
- ⑥ 職員の処遇

2 大野立志議員

- ① 中小企業支援対策
- ② 税収動向と予算編成
- ③ 地産地消拠点施設整備事業
- ④ 大洲市の将来展望

3 二宮 淳議員

- ① ごみ減量への取り組み
- ② 海の駅
- ③ 国民健康保険の資格証明書
- ④ 補助金施設

4 中野寛之議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 定額給付金事業
- ③ 財産の貸付
- ④ ふれあいパーク
- ⑤ がん検診

5 梶田和美議員

- ① 緊急経済対策
- ② がん対策
- ③ 青少年育成

6 武田雅司議員

- ① 2009年度予算編成方針
- ② 中小企業緊急経営資金融資制度
- ③ 循環バス導入計画
- ④ 第三セクター
- ⑤ 災害対策

7 有友正本議員

- ① 財政改革
- ② 治水対策
- ③ 図書館
- ④ 小学校統廃合計画
- ⑤ 食の安全

8 大野新策議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 福祉問題
- ③ 市立大洲病院

平成21年度

予算編成方針

問 重点事業について

答 新年度の予算編成については、今後地方交付税など歳入の動向を見ながら具体的な予算規模や施策を取りまとめ、大洲市総合計画の将来イメージ図を指して予算編成を行いたいと考えています。

しかしながら、歳入の基本となる市税については景気の急激な悪化等により減収は避けられず厳しい状況が続くことから、平成21年度もなお一層厳しい財政運営になるものと考えています。

このことから、大洲市集中改革プランに基づき行政改革に全力で取り組み、当面の厳しい状況を乗り切ることが喫緊の課題であり、このため経費全般について再度徹底した節減合理化を検討することとし、漫然と事業を継続することなく事業の厳選と財源の重点配分を行い、財政の健全化を最優先することとしています。

なお、平成21年度の重点事業としては、学校耐震化

事業の計画的な着工や、JA愛媛たいき農協と連携して進める地産地消拠点施設整備を通じての第1次産業の振興に努めていきたいと考えています。

地産地消拠点施設

問 計画書の公表、競合商品との差別化、市場の需要額について

答 用地の8,454平方メートルは市が造成しますが、施設の整備についてはJA愛媛たいきが事業主体となり平成22年4月オープンを目指し事業推進を図っています。また、この施設内に行政サービスの向上を図るため、住民票や証明書などを発行する簡易な行政窓口機能及び観光、物産等の情報発信機能を持った市民サービスセンターの設置についても検討しています。

事業計画の公表については、現在JA愛媛たいきが経営コンサルタントを導入し、施設のコンセプトや運営方法、さらには地域の実情に即した商品開発などの取り組み方法を検討してお

り、その計画が策定され次第公表するとともに生産者へ広く参画の呼びかけがなされるものと考えています。今回計画している施設は地産地消の直売所として施設を整備しますので、基本的には地元の農林水産物の販売が優先と考えていますが、四季を通じ農産物の端境期に必要な商品が品薄となる場合が予想され、消費者への配慮も考えながら必要に応じ地域外産品も導入し、一定の分別化を図っていきたいと考えています。

なお、初年度の売上目標は約5億円と試算しており、市内の既存産直市(あさぎり市)

